児童に見られるつまずき

　場面の移り変わりに注意しながら叙述をもとに想像して読み、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　主張→根拠となる叙述→理由の順で答えられるようなワークシートを用いることで、叙述をもとに自分の考えを表現できるようにする

指導事例集ｐ．７７

１　学年・単元名　　第３学年　心にのこったことを，自分の言葉で表そう

『モチモチの木』（読むこと）

２　単元の目標

（１）登場人物の行動や会話から，人物の人柄や気持ちを捉えて読むことができる。

　（２）心に残ったことを自分の言葉で表して，ポスターに書き入れ，伝え合うことができる。

３　本時の目標

「ぼく」になって天国の「エルフ」に手紙を書くことによって，全ての生き物に対する広い愛情の大切さと，それに気付かせてくれた「エルフ」への感謝の思いを想像することができる。

資料：板書

ワークシート

４　学習の展開　　**太字：つまずきに対する手立て**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **学習活動・主な発問** | **指導上の留意点** | **評価と評価方法** |
| 導入 | ○本時の学習のめあてをつかみ，５場面を音読する。  豆太は，おくびょうな豆太にもどったのか。 | ○前時の学習を振り返らせる。 |  |
| 展  開 | ○豆太は１場面のおくびょうな豆太にもどってしまったのかどうかを考え，ワークシートに書く。  豆太は，おくびょうな豆太にもどってしまったのでしょうか。  一人→グループ→全体  もどった  ・最後にしょんべんに行くのにじさまを起こしているから，豆太はおくびょうで，変わっていない。  ・医者様は，モチモチの木に明かりがついたように見えるんだと言っているから山の神様のお祭りではない。  ・豆太はまだ５さいで，やっぱり怖がっているのでおくびょう豆太だ。  かわった  ・「勇気のある子ども」とじさまに言われているからかわった。  ・モチモチの木に灯がついたのを見ることができたから強くなった。  ・「いたくて，寒くて，こわかった」けれど，なきなき医者様のところに行けたから勇気がある。  ・じさまを助けるために，痛さや寒さやこわさもはねのける強くてやさしい豆太にかわった。  ・豆太が強くなったことでモチモチの木の見え方も，かわった。  ○本時のまとめとして，ポスターメモに短い文でまとめる。  今日の学習で心に残ったことを自分の言葉でポスターメモに表してみましょう。  ・豆太は，じさまを助けたい一心だったから勇気が出せた。  ・じさまと豆太は，おたがいをとても大事に思っている。  ・豆太の勇気がモチモチの木に明かりをともした。  ・豆太は，おくびょうだけど本当は強いと思う。 | **書く活動**  自分の考えを明確に伝えるために書かせる。  ○どの言葉でそう考えたのか根拠となる叙述を示し，理由を書かせる。  **○主張→根拠となる叙述→理由の順で答えられるようなワークシートにする。**  ○地の文や会話文に着目して，豆太の気持ちを読み取らせる。  ○モチモチの木に灯がついているのを見たから，勇気がある豆太に変わったのではないかと考えさせる。  ○豆太はまた一人でしょんべんに行けなくなっていることで「勇気がある子ども」と矛盾していることについて考えさせる。  Ｃへの手だて  友だちと意見を交流することで，新たな視点に気付き，考えを深めていく。  ○豆太の変容に気付かせ，何が豆太を変えたのかを考えさせる。  ○豆太から見たモチモチの木の様子も変わっていることに気付かせる。  **書く活動**  心に残ったことを具体的にイメージさせるために書かせる。  ○ここでの感想を次時のポスターに利用することを伝える。  ○書けた児童に順に発表させ,まとめにつなげる。  Ｃへの手だて  文字数にとらわれずに書かせて，一番伝えたいことをまとめさせる。 | ワークシート⑥  ○豆太の行動を思い出し，じさまに対する思いを読み取ることができる。  （ワークシート・発言）  ○叙述に基づいて豆太の気持ちの変容を考えることができている。（発言）  ○心に残ったことを自分の言葉で表現できている。  　（ワークシート）  ワークシート⑥ |
| まとめ | ○本時のまとめをする。  ・じさまを助けるために，いたさや寒さやこわさもはねのける強くてやさしい豆太にかわったから，モチモチの木に灯がともった。 |  |  |

５　単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **関心・意欲・態度** | **書く能力** | **読む能力** | **言語についての**  **知識・理解・技能** |
| ○登場人物の行動や会話に着目しながら物語を読み，心に残ったことを人に伝えようとしている。 | ○心に残ったことをまとめ，本文を引用して感想を書いている。 | ○会話文や地の文に着目しながら，登場人物の人柄や気持ちを考えて読んでいる。 | ○作品中の比喩表現や，感想を表すのに適切な言葉があることに気付いている。 |

６　準備

ワークシート，挿絵（掲示用），既習内容の掲示物